

工事施工状況



■ 基礎工事



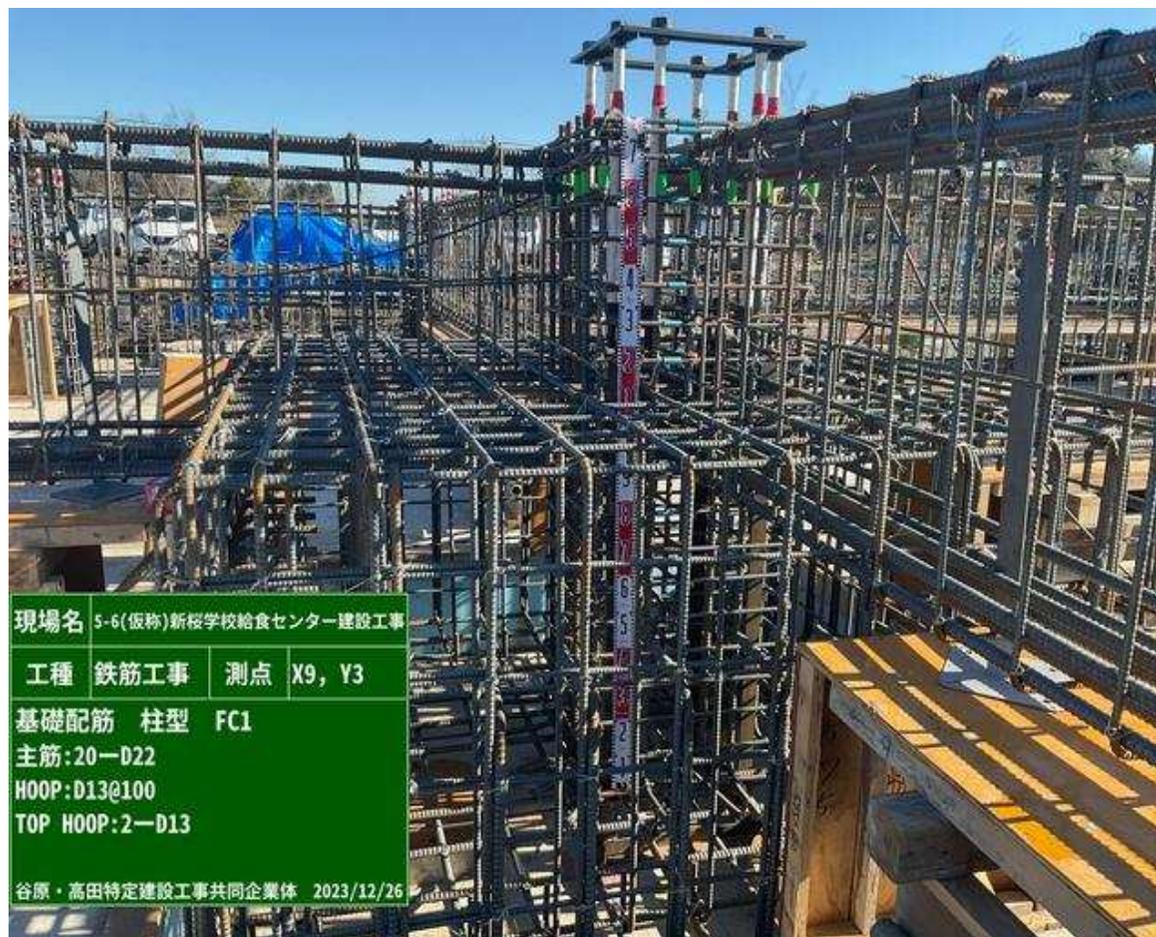
杭施工状況

■ 基礎工事



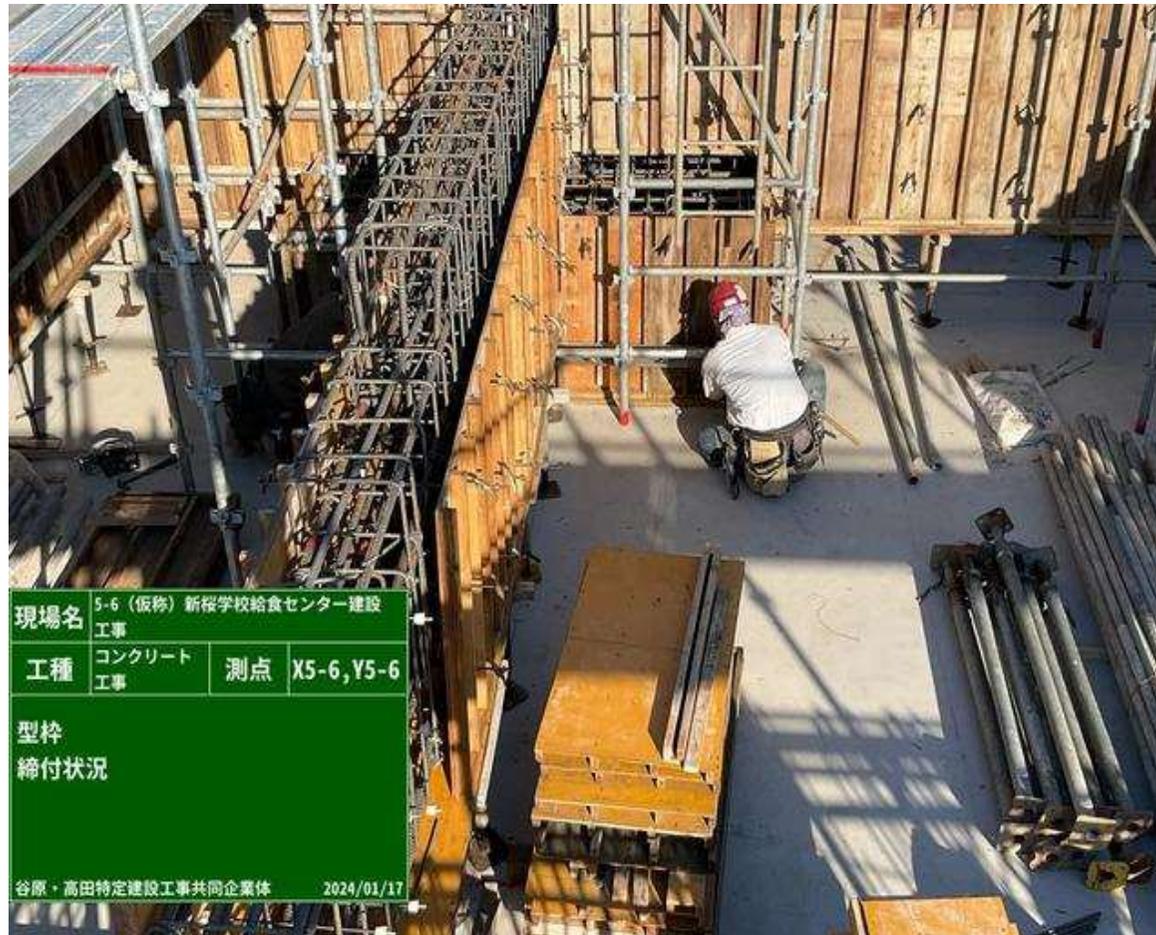
掘削・碎石敷き込み状況

■ 基礎工事



基礎配筋状況

■ 基礎工事



基礎型枠施工状況

■基礎工事～鉄骨工事



基礎コンクリート打設状況

■基礎工事～鉄骨工事



外周部防水施工状況

■基礎工事～鉄骨工事



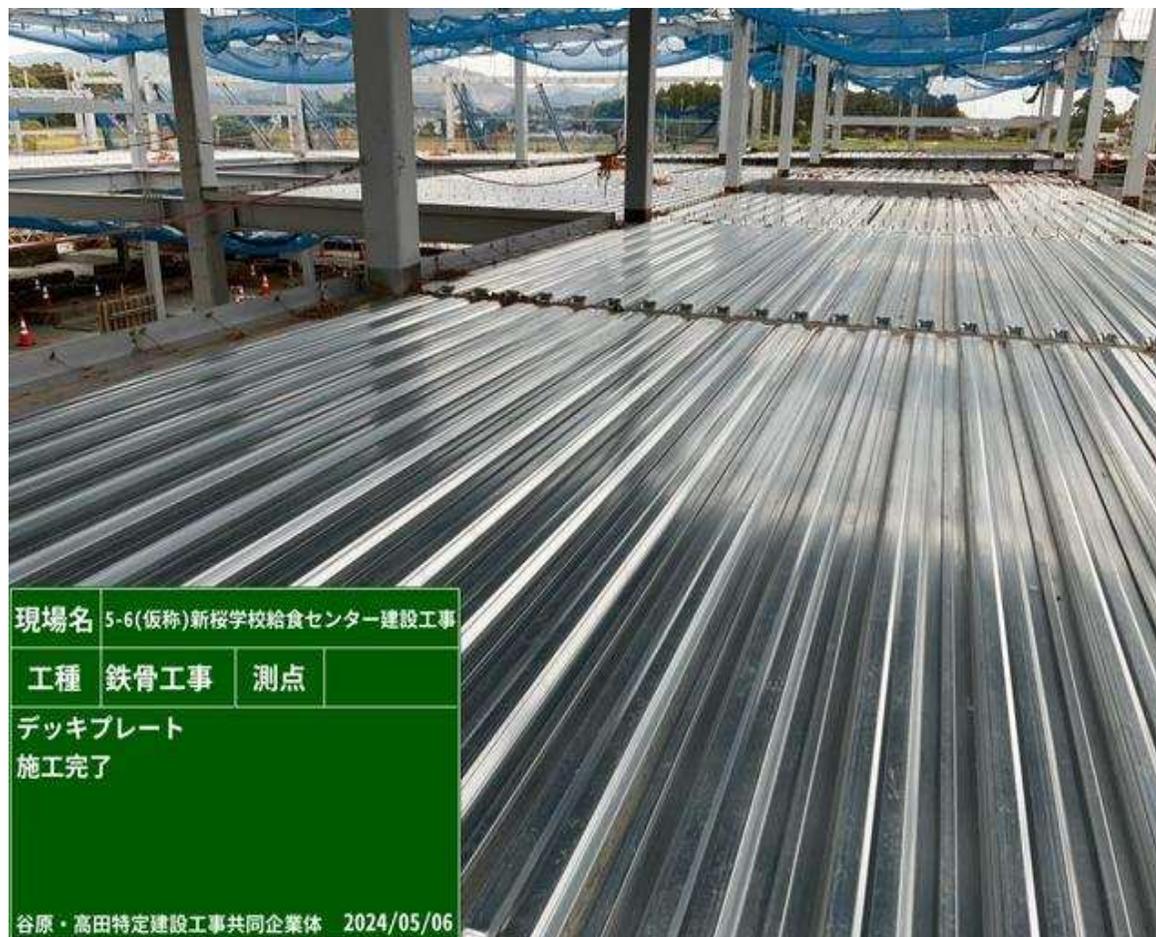
基礎完了～鉄骨建て方状況

■基礎工事～鉄骨工事



鉄骨建て方完了

■鉄骨工事～外装工事



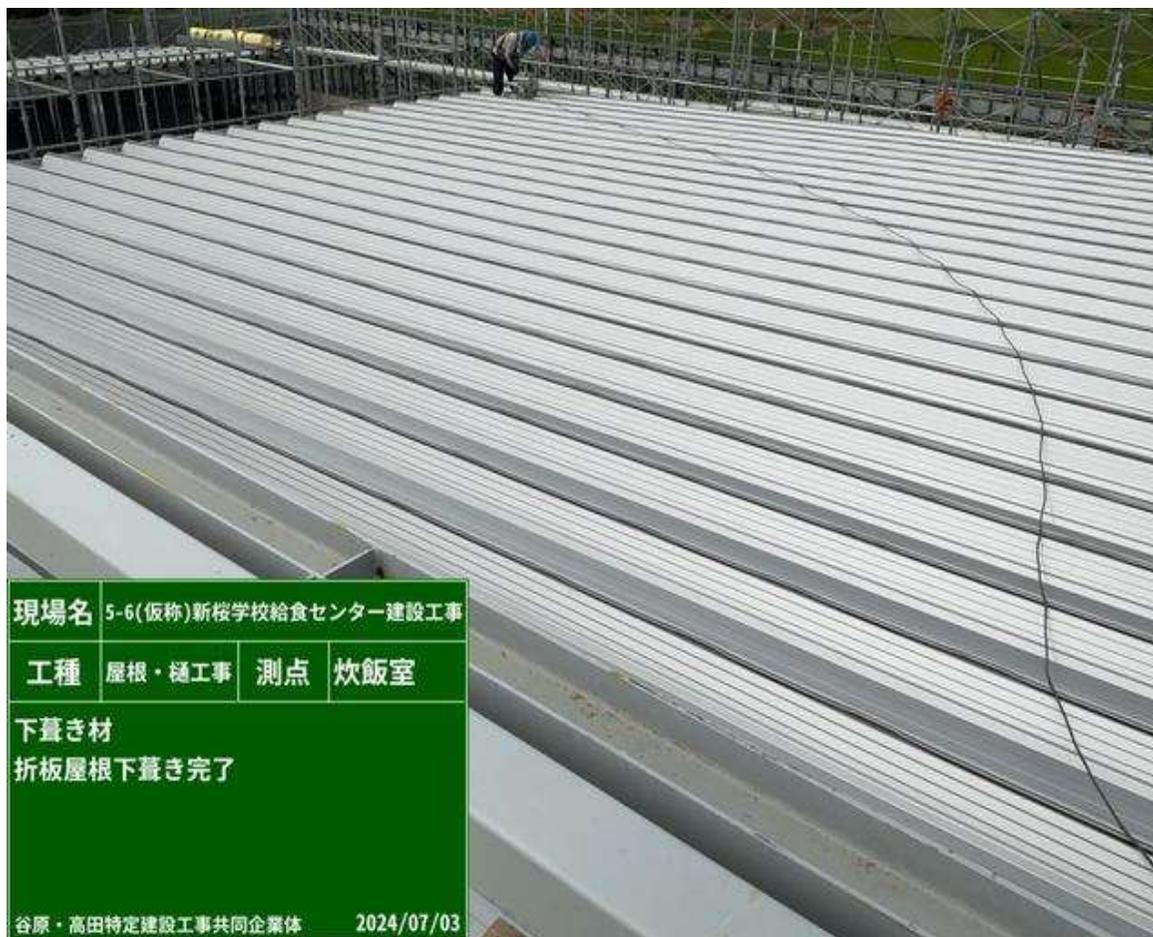
2階スラブデッキ敷き込み

■鉄骨工事～外装工事



2階スラブコンクリート打設

■鉄骨工事～外装工事



屋根施工状況

■鉄骨工事～外装工事



外壁施工状況

■ 建具取付～内装工事



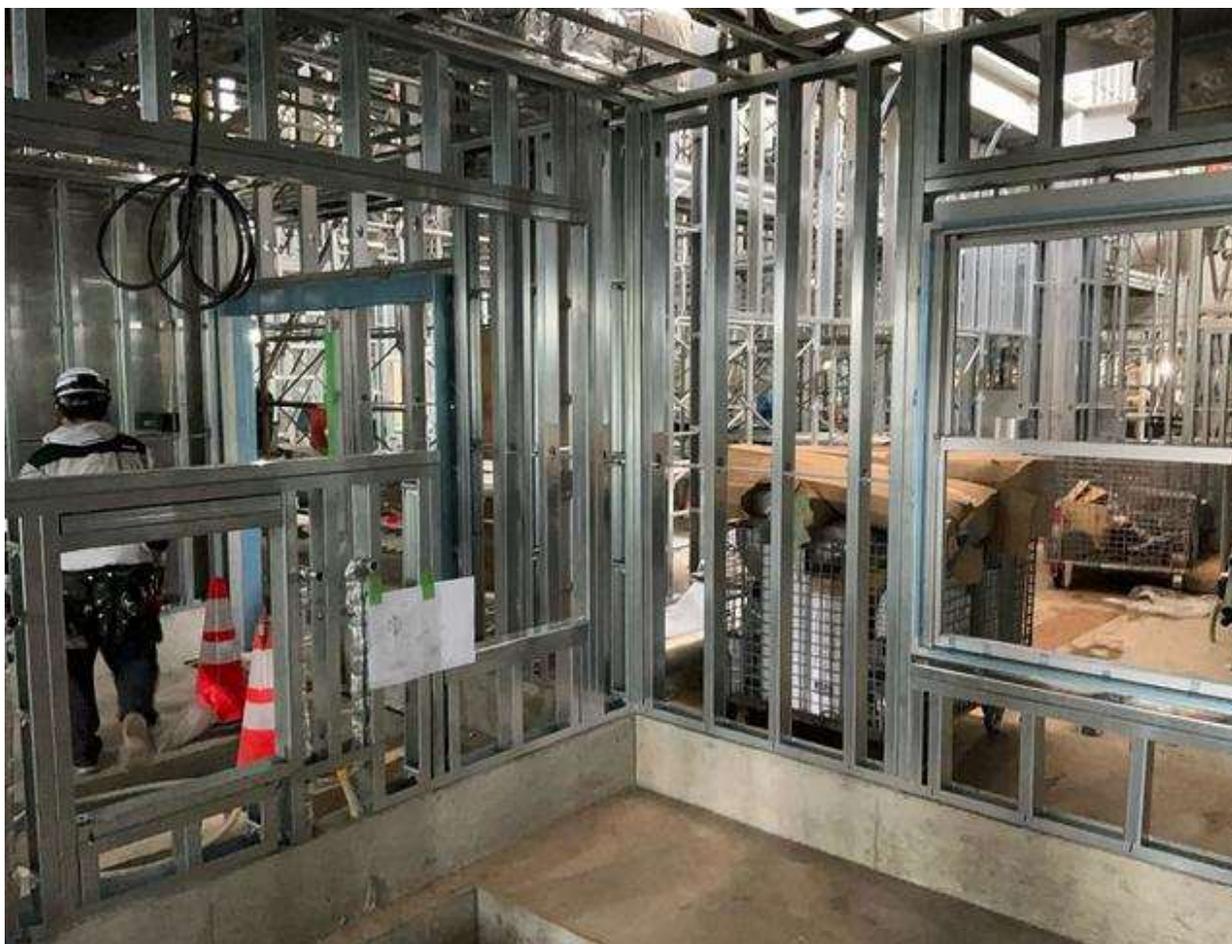
断熱吹付施工状況

■ 建具取付～内装工事



建具取付状況

■ 建具取付～内装工事



壁軽量鉄骨下地施工状況

■ 建具取付～内装工事



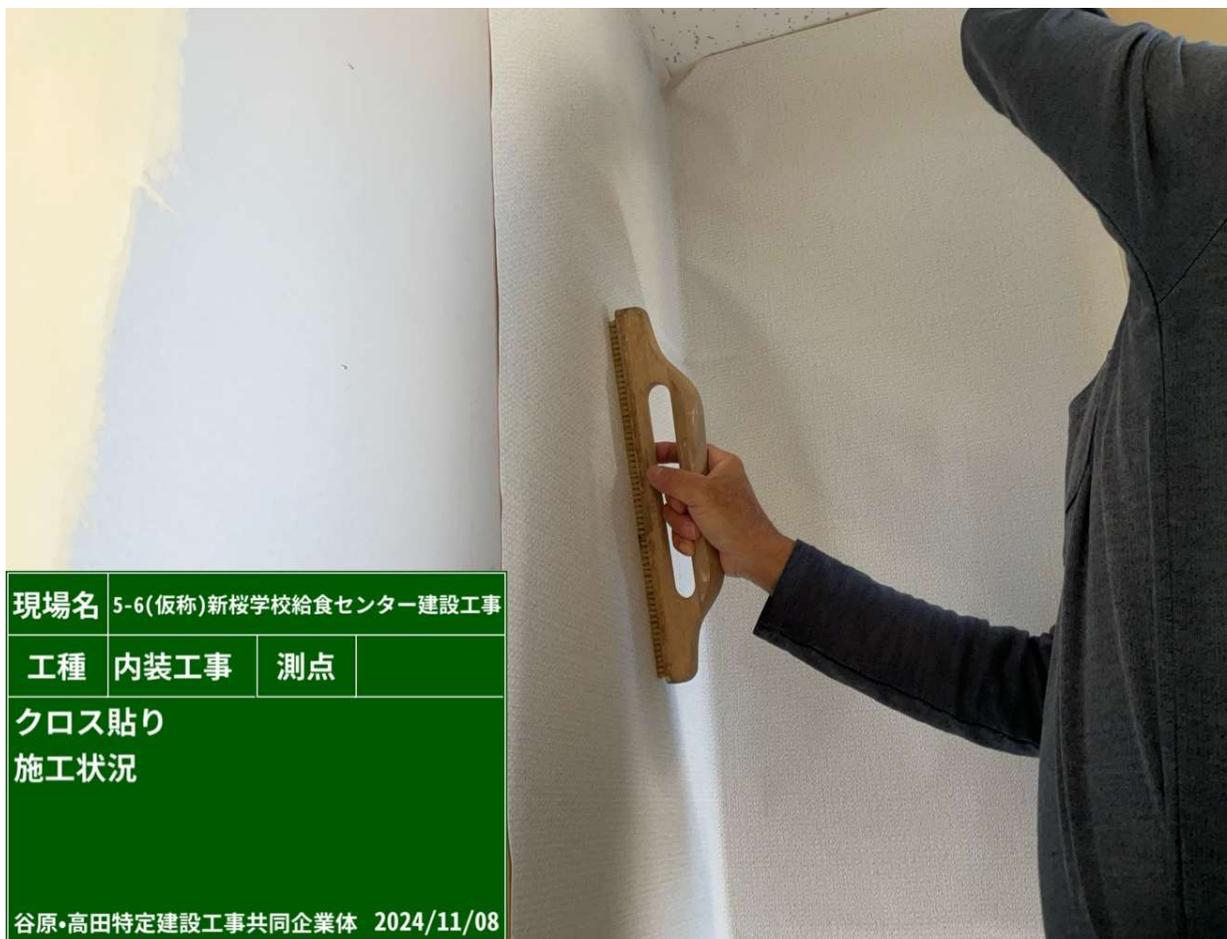
軽量鉄骨天井下地施工状況

■ 建具取付～内装工事



ボード施工状況

■ 建具取付～内装工事



クロス施工状況

■ 建具取付～内装工事



塗床施工状況

■ 建物内観



床フローリング張り

■ 厨房機器設置



煮炊き調理室機器設置

■ 厨房機器設置



炊飯室機器設置

■ 厨房機器設置



コンテナプール機器設置

■ 厨房機器設置



野菜下処理シンク設置

■ 厨房機器設置



上処理機器設置

■ 厨房機器設置



蒸し器設置

■ 厨房機器設置



焼物機・揚物機設置

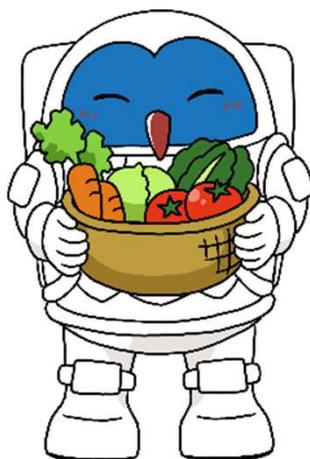
■ 厨房機器設置



加熱調理機設置

もくじ

1	ガイドライン策定の趣旨	1
2	学校給食における地産地消	1
3	基本理念	1
4	ガイドラインの位置づけ	1
5	つくば市の学校給食における地場産物活用の経緯	2
6	つくば市における地場産物の活用の課題と検討	2
基本方針1	地場産物を安定的に学校給食に供給できる体制をつくります	3
基本方針2	学校給食における地場産物の利用拡大をはかります	5
基本方針3	生産者と学校給食関係者の話し合いの場をつくります	6
基本方針4	地産地消と連携した食育を推進します	7
目標の設定		8
	これからの地産地消のすがた～地産地消の環（わ）～	9



1 ガイドライン策定の趣旨

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスに配慮したおいしい給食を提供するとともに、食べ物の大切さや生産者への感謝など、子どもたちの食育において重要な役割を担っています。

そして、地場産物（地域で生産された産物）を学校給食に活用し、また、食に関する指導の教材として用いることにより、児童生徒がより身近に、地域の食や食文化等について理解を深め、食料の生産、流通に関わる人々に対する感謝の気持ちを育てることに繋がります。

教育局健康教育課及び各学校給食センターにおいては、地産地消推進のため実施期間を5年とした「つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン」を令和元年（2019年）12月に策定しました。

今回、地産地消の更なる発展と活性化のため、「つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン」を改訂し、新たな取組と目標値等を設定したので、当ガイドラインに基づき地産地消を推進していきます。

2 学校給食における地産地消

地産地消とは、地場産物を、その生産された地域内において消費する取組です。学校給食における地場産物の活用は、生産地と消費地との距離が縮減されることにより、その輸送に係る二酸化炭素の排出量も抑制されるとともに、流通に要するエネルギーや経費の節減等、環境負荷の低減にも寄与するものです。

また、学校給食を始めとする学校教育に対する地域の生産者等の理解が深まることにより、学校と地域との連携・協力関係の構築にも寄与していることから、学校や地域において、地場産物を学校給食で活用する取組が積極的に進められています。

3 基本理念

地場産物を学校給食に積極的に活用し、食育と地域経済の振興につなげます。

4 ガイドラインの位置づけ

「第3期つくば市教育振興基本計画（2021-2025）」や「第2次つくば市農業基本計画（2020-2024）」、「つくば市食育推進計画（第4期つくば市健康増進計画「栄養・食生活分野」）（2021-2025）」等の関連計画と整合性を図るものとします。

学校給食及び地産地消に係る法律、上位関連計画

- ・食育基本法
- ・学校給食法
- ・第4次食育推進基本計画
- ・第4次健康いばらき21プラン（第4章）食育の推進



【健康・食育】

つくば市食育推進計画（第4期つくば市健康増進計画「栄養・食生活分野」）（2021年度-2025年度）



【教育】

第3期つくば市教育振興基本計画
（2021年度-2025年度）

つくば市の学校給食における
地産地消推進ガイドライン
【2024年度 - 2028年度】

【農業】

第2次つくば市農業基本計画
（2020年度-2024年度）



5 つくば市の学校給食における地場産物活用の経緯

年	つくば市の動き
平成29年 (2017年)	地産地消推進会議立ち上げ（3回実施）
平成30年 (2018年)	にんじん、長ねぎの契約取引の試験的实施（2017年12月から2018年1月）
令和元年 (2019年)	つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン策定
令和3年 (2021年)	地産地消率の目標値を設定（食品数ベース20%以上）
令和6年 (2024年)	つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン改訂

6 つくば市における地場産物の活用の課題と検討

「つくば市の学校給食における地産地消推進ガイドライン」に基づき、学校給食において地産地消を推進してきましたが、目標としていた地産地消率（食品数ベース）20%を達成できない年もありました。これまでの取組から見えてきた地産地消の推進における課題は、以下のことが挙げられます。

(1) 給食食材の納入業者の確保

給食センターへ納入できる生産者が少ないため、新規納入業者の掘り起こしが必要です。

(2) 地場産物の年間使用の平準化

地場産物については、天候不良等に左右されることも多く、事前に生産スケジュールを考慮して献立を作成していても、実際の使用日と収穫時期にズレが生じ、地場産物の納入がない月もあります。

また、つくば市で収穫できる地場産物は、季節による偏りが生じています。年間を通して、地場産物を活用していくためには、貯蔵庫の整備や規格外野菜の活用、加工品の開発を検討していくことが必要です。

その他、令和3年度（2021年度）から令和4年度（2022年度）に行った「つくば市学校給食の在り方懇談会」においても、学校給食への地場産物の活用を望む多くの意見がありました。

このような課題を解決し、さらに、学校給食へ地場産物を活用していくため、次の4つの基本方針を軸として地産地消を推進していきます。

基本方針1：地場産物を安定的に学校給食に供給できる体制をつくります。

基本方針2：学校給食における地場産物の利用拡大をはかります。

基本方針3：生産者と学校給食関係者の話し合いの場をつくります。

基本方針4：地産地消と連携した食育を推進します。

地場産物納入後の流れ

食材の検収



納入された食材の品質や異物の有無をチェック

下処理



調理員がひとつひとつ丁寧に洗浄・下処理を行う

調理



学校で喫食

(献立の例)
「つくば地産地消の日」献立



栄養教諭等による地場産物の食育授業

基本方針2

学校給食における地場産物の利用拡大をはかります。

- ・月に1回、各学校給食センターにおいて「つくば地産地消の日」献立を提供します。
- ・毎年、11月を「つくば市地産地消月間」とし、つくば市民の日に特別献立の提供をすると共に、地場産物活用の強化月間とします。
- ・新たな加工品等を生産者・納入業者と共同で企画開発し、地場産物のPR拡大を推進します。
- ・地場産物の1次加工（切裁、冷凍）品を給食で活用する体制を整備します。
- ・つくば市学校給食会栄養士部会で地産地消レシピを考案します。
- ・日別使用等で一部納品も受け付け、生産者が納品しやすい体制を可能な限り整備します。
- ・生産者等と意見交換の場を設け、つくば市学校給食食材納入登録業者の拡充を図ります。
- ・規格外品（規格無選別品）を給食で使用方法を検討します。
- ・有機農産物の強化品目の設定を検討し、給食での利用拡大を推進します。

【つくば市民の日の献立】

献立例 鶏肉のにんじんソース
ヤーコンのピリ辛炒め
つくばの恵み豚汁
つくば市産さつまいもプリン

栄養士部会で開発した
つくば市産さつまいもプリン



【栄養士部会で考案したレシピ】



基本方針3

生産者と学校給食関係者の話し合いの場をつくります。

- ・生産者や地産地消に携わる担当部署との会議の場や交流の場を定期的に作ります。
- ・栄養士による生産者の産地訪問を行い、お互いに現状を理解していきます。
- ・生産者と情報交換することで、新たな地場産物や新規就農者等の掘り起こしに繋がります。
- ・生産者を対象とした給食試食会を行い、学校給食への理解を深めていきます。

【栄養士による生産者の産地訪問の様子】



【つくば市の学校給食で提供される地場産物の例】



しめじ



水菜



お米



パプリカ



福来みかん



ブルーベリー

基本方針4

地産地消と連携した食育を推進します。

- ・生産者による食育授業を実施します。
- ・給食だより等において地場産物情報を発信します。
- ・給食への有機農産物導入を推進します。
- ・児童生徒が有機農産物の生産に伴う環境負荷の低減や地域の活性化について生産者や栄養教諭から学ぶ機会をつくれます。
- ・「つくばのオーガニック給食デー」を開催し、児童生徒の有機農産物の理解を深めます。

【児童生徒のふくれみかんの収穫の様子】



【生産者による食育授業の様子】



【つくばのオーガニック給食デーの献立】

- 献立例 オーガニックチキンの唐揚げ
有機小松菜のごま和え
有機野菜のすまし汁

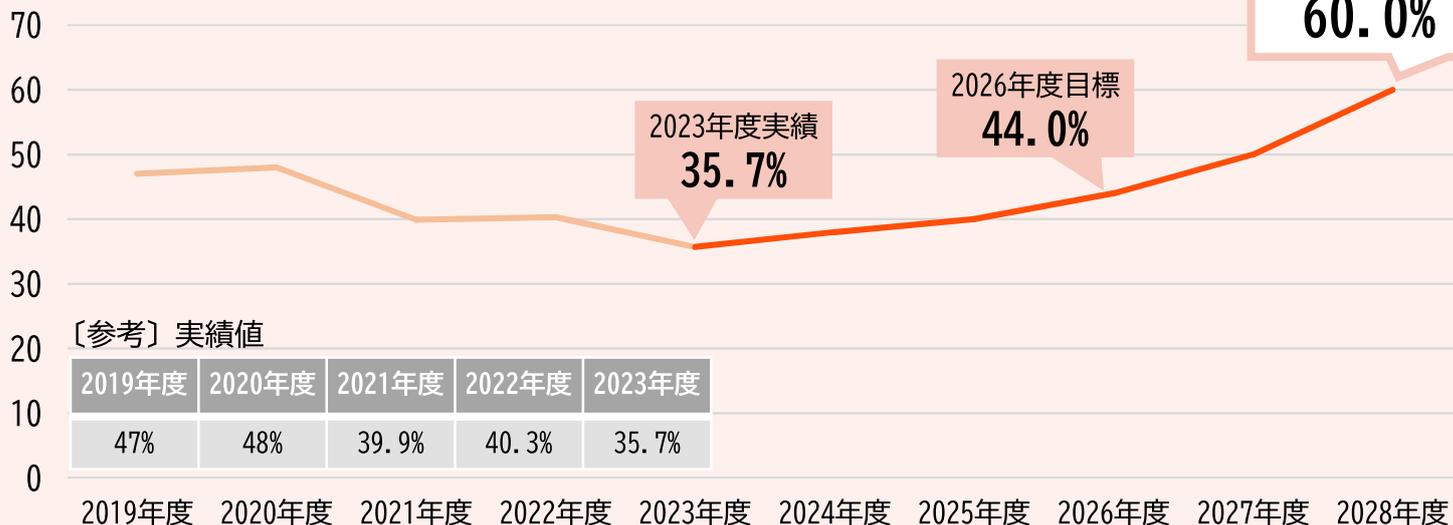


目標の設定

貯蔵庫及び加工施設の整備検討を行い、学校給食に活用できる地元産野菜の積極的な購入を図ります。

金額ベース（地産地消率）

学校給食の材料費における地場産物取り扱い業者取引額を全青果取り扱い業者の取引額で除したもの



食品数ベース（地産地消率）

学校給食の献立に使用した食品のうち、つくば市で生産・収穫された食品数の割合



経済部と連携し、有機米を学校給食へ広げていきます。

有機米活用状況【新設】

つくば市で生産・収穫された有機米を使用した献立の回数（炊飯設備を備える「（仮称）新桜学校給食センター」が対象）

年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
目標値	-	3回	5回	7回	10回

これからの地産地消のすがた～地産地消の環（わ）～

学校給食での地産地消は、児童生徒や家庭と地域を繋ぎ、学校給食における地場産物の使用率を高め、児童生徒へのつくば市の愛着を育むため、健康教育課、給食センター、学校、生産者、各関係者等が連携することで推進されます。

これらの連携を「地産地消の環（わ）」とし、さらに地産地消を推進するため、この環を増やし、より強固にしていきます。

【地産地消の環を広げるための連携した取り組み（例：ふくれみかん）】

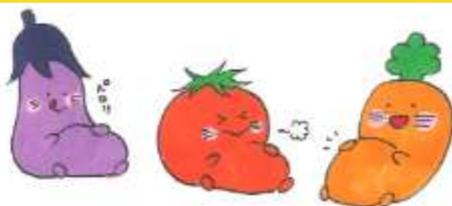


1番大切なのは愛情です！



実際に収穫

「ふくれみかん」を味わおう



給食センターで調理



子どもたちが剥いた皮を給食センターへ納品



つくば市の学校給食における 地産地消推進ガイドライン

【2024年度-2028年度】



2024年10月
つくば市教育局健康教育課

地産地消推進ガイドライン【第2期】 2024年10月改定

【市の取り組み】

- ① 地場産物の**優先的購入**のための落札基準の設定
- ② **11月つくば市地産地消月間**の実施
- ③ 生産者による**食育授業**の実施
- ④ **有機農産物**の積極的使用

(参考)

第1期ガイドライン(2019年度~2023年度)



地産地消推進ガイドラインの趣旨(P.1)

学校給食における地産地消

教育的効果

地域の食や食文化等について理解を深める
食料の生産、流通に関わる人々に対する感謝の気持ちを育てる



環境への配慮

生産地と消費地との距離の縮減
流通に要するエネルギーや経費の節減



社会的つながり

学校と地域との連携の構築



地場産物を学校給食で活用する取組が積極的に進められています。

① 地場産物の優先的購入のための落札基準の設定(P.3)

毎月の入札による食材を選定する際に、該当品目における見積平均価格の2割を上限とし、その価格範囲内で地場産物を優先的に購入します。

例) ある月の見積合せの結果

品目	A社(茨城県産)	B社(他県産)	C社(茨城県産)	D社(つくば市産)
にんじん	115円	110円	100円	120円

$$\begin{aligned} \text{見積平均価格} &= (115\text{円} + 110\text{円} + 100\text{円} + 120\text{円}) \div 4 \\ &= \mathbf{111.25\text{円}} \end{aligned}$$

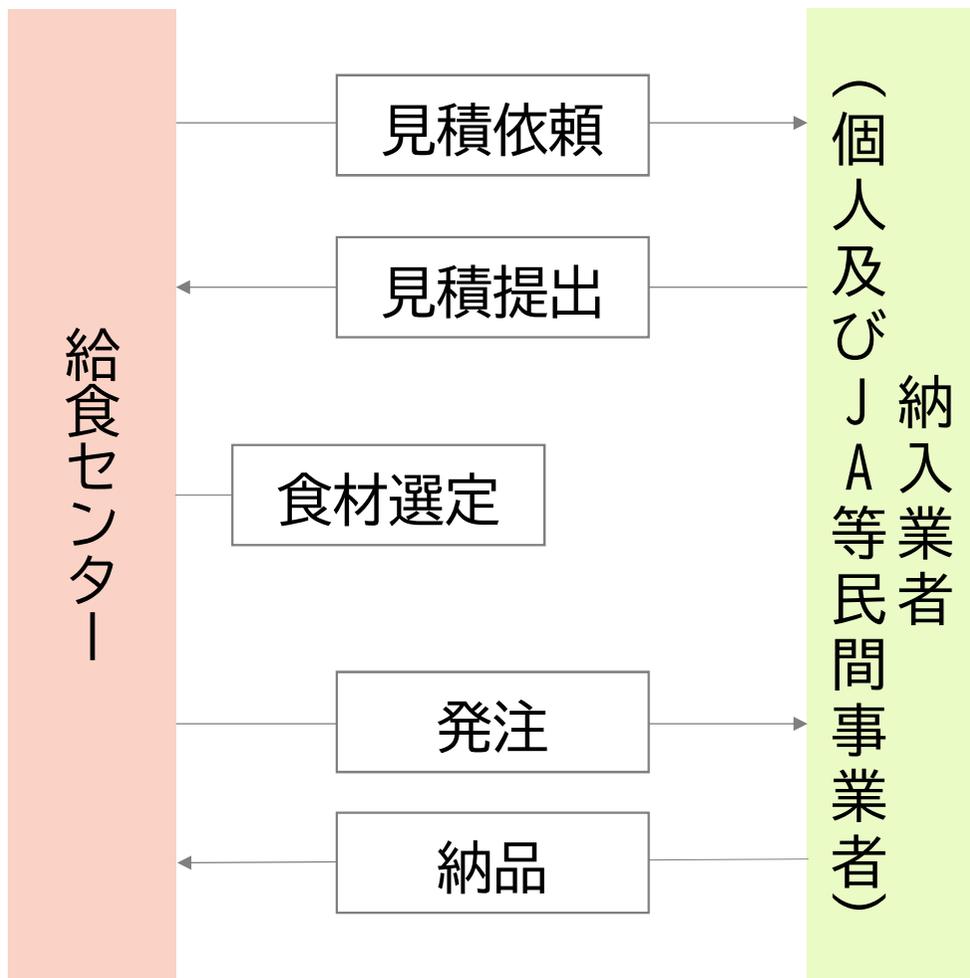
$$\text{地場産物の購入上限価格} = 111.25\text{円} \times 1.2(20\%) = \mathbf{133.5\text{円}}$$

133.5円以下の範囲で、地場産物を優先購入します。

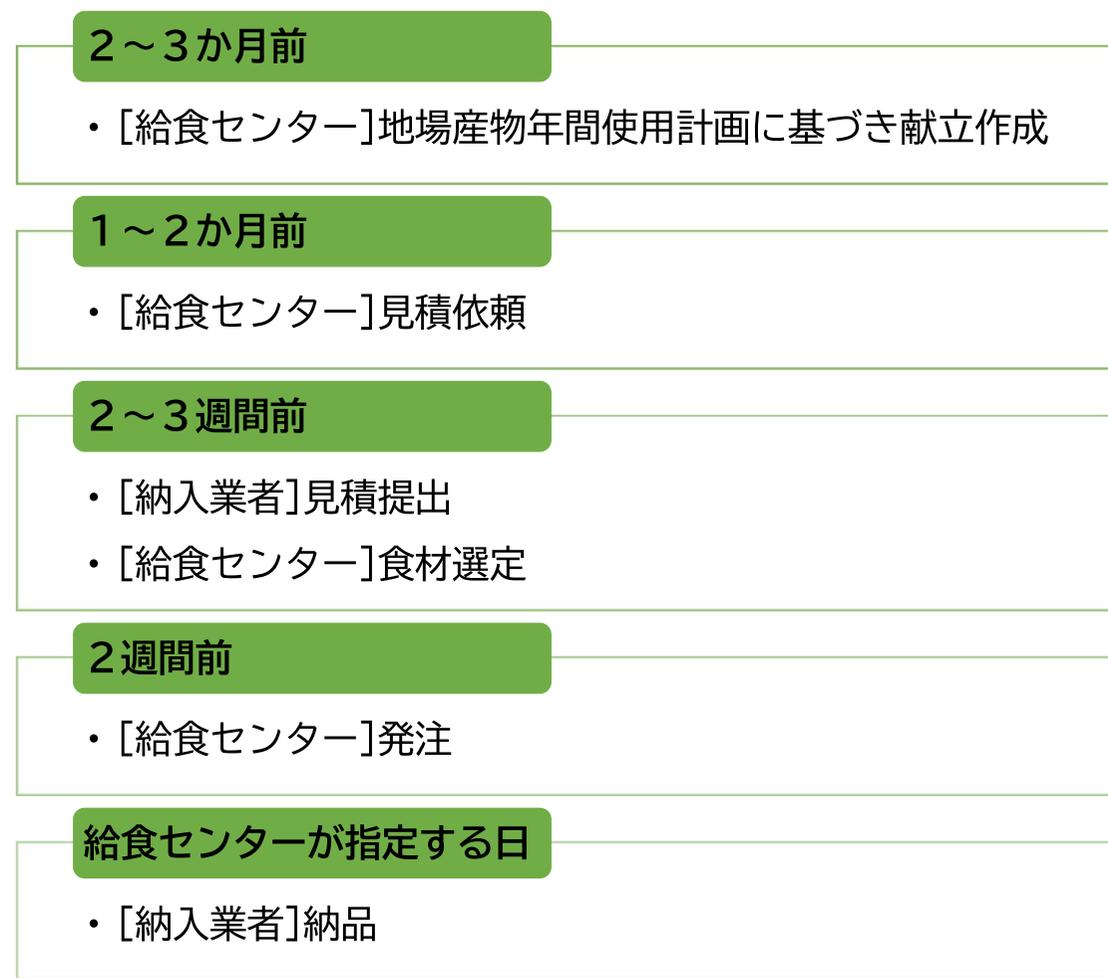
地場産物の購入上限価格の範囲内で2社以上、地場産物の入札があった場合には、価格、品質、栽培方法等、総合的に判断し、購入先を決定します。

学校給食食材の納入の流れ(P.3)

【地場産物納入体制図】



【地場産物納入までの流れ】



② 11月つくば市地産地消月間の実施(P.5)

毎年、11月を「つくば市地産地消月間」とし、つくば市民の日に特別献立の提供をすると共に、地場産物活用の強化月間とします。

11月の強化月間は、普段よりも地場産物を積極的に使用した献立作成に努めます。いっそうの地場産物の学校給食への納入にご協力ください。



【つくば市民の日の献立】

献立例 鶏肉のにんじんソース
ヤーコンのピリ辛炒め
つくばの恵み豚汁
つくば市産さつまいもプリン

栄養士部会で開発した
つくば市産さつまいもプリン



③ 生産者による食育授業の実施(P.7)

生産者による食育授業を実施します。

年間を通して、生産者による食育授業を実施しています(毎年約30件程度)。**学校で授業をやってみたい!**という方は、ぜひ、健康教育課学校給食係にお気軽にお問い合わせください。講師料として、1回の授業につき3,000円お支払いします(材料費、交通費含む)。

【今年の授業の様子】



- ・つくば市の農作物について(栄養教諭より)
- ・生産者の話 野菜の仲間クイズ、作っている野菜の種類、ごぼうの作り方、大変なこと、うれしいこと

<子どもたちの感想>

- ・僕は農家になりたいです。大変なこともあるけどよいところもあるのでおもしろそうです。
- ・ごぼうのことをたくさん知れてごぼうがもっと好きになりました。
- ・農家の方がたくさん大変な思いをして野菜を作ってくれているのがわかりました。

④ 有機農産物の積極的使用(P.3,7)

- ・ 地場産の有機農産物については、該当品目における見積平均価格の2割を上限とし、その価格範囲内で優先的に購入します。
- ・ 給食への有機農産物導入を推進します。
- ・ 児童生徒が有機農産物の生産に伴う環境負荷の低減や地域の活性化について生産者や栄養教諭から学ぶ機会をつくります。
- ・ 「つくばのオーガニック給食デー」を開催し、児童生徒の有機農産物の理解を深めます。

つくば市では、学校給食における有機農産物の積極的活用を推進のため、次の目標を設定します。

有機米活用状況【新設】

つくば市で生産・収穫された有機米を使用した献立の回数（炊飯設備を備える「（仮称）新桜学校給食センター」が対象）

年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
目標値	-	3回	5回	7回	10回

なお、有機米だけでなく、有機農法で栽培された農産物を年間を通して学校給食に積極的に活用します。

(仮称) つくば市荃崎給食レストラン整備事業について

1 施設概要

建設地：つくば市下岩崎 2105 番地 約 2,500 m²

延床面積：900 m²程度

構造：鉄骨造 2 階建て

調理能力：1 日最大 300 食、1 献立制

施設機能：隣接する荃崎第二小学校の給食を提供するほか、一般市民向けの給食レストラン、地場産物の貯蔵庫及び加工設備、市民が利用できる多目的スペースを備える複合型施設

2 事業実施スケジュール

令和 6 年度から令和 7 年度 基本・実施設計

令和 7 年度 旧岩崎保育所解体

令和 8 年度から令和 9 年度 建設工事

令和 9 年度 一部プレオープン（給食レストラン）

令和 10 年度 本稼働（児童への給食提供）

3 進捗状況

(1) 基本・実施設計

令和 7 年 1 月 14 日 公募型プロポーザルにおける候補者選定委員会

令和 7 年 1 月 30 日 横須賀満夫建築設計事務所・エム・スタイル特定業務
共同企業体と契約締結

令和 7 年 2 月 4 日 初回打合せ

【今後の予定】

令和 7 年 4～5 月 ワークショップ等開催

令和 7 年 6 月 基本設計完了

令和 8 年 1 月 実施設計完了

(2) 敷地測量業務委託

令和 6 年 12 月 有限会社マルイ測量設計と契約締結

令和 7 年 3 月 敷地測量業務完了

つくば市立学校給食センター運営審議会委員名簿

(任期：令和5年7月7日～令和7年7月6日)

選任種別	委員氏名	役職等	備考
市議会議員	木村 清隆	議会推薦(総務文教委員長)	
学 校 長	根本 智	つくば市校長会会長(春日学園義務教育学校)	
学 校 長	菅谷 和美	つくば市学校給食会会長(吾妻中学校)	
学 校 長	柴崎 孝浩	つくば市学校給食会副会長(並木中等教育学校)	
学 校 医	小倉 正徳	つくば市医師会推薦	小倉医院
学校歯科医	舟久保 せいこ	つくば市歯科医師会推薦	桜南歯科クリニック
学校薬剤師	千葉 瑞恵	つくば薬剤師会推薦	自由ヶ丘薬局
保健所長	本多 めぐみ	茨城県つくば保健所所長	
保護者代表	篠田 さゆり	つくば市PTA連絡協議会副会長(東支部)	竹園東中学校
保護者代表	野口 恵実	つくば市PTA連絡協議会副会長(南東支部)	手代木南小学校
保護者代表	菊地 貴広	つくば市PTA連絡協議会副会長(北西支部)	沼崎小学校
保護者代表	飯塚 康弘	つくば市PTA連絡協議会副会長(南支部)	荃崎第二小学校
学識経験者	有田 尚子	つくば市学校給食会栄養士部会部長	竹園東中学校
学識経験者	富田 恵美	つくば市学校給食会給食主任代表(吾妻中学校)	
学識経験者	松本 亜希子	つくば市幼稚園長会会長(手代木南幼稚園)	
学識経験者	栗山 光子	つくば市食生活改善推進員協議会会長	